

開講科目名 Course	監査論特殊研究 (B) / Advanced Auditing (B)
時間割コード Course Code	13730
開講所属 Course Offered by	会計学研究科博士前期課程 /
開始年度・学期 Start Year・Semester	2022年度 / Academic Year 後期
曜限 Day, Period	他 6
開講区分 semester offered	後期 / .
単位数 Credits	2.0
学年 Year	1,2
主担当教員 Main Instructor	友杉 芳正
科目区分 Course Group	展開科目
教室 Classroom	オンライン授業
講義形式 Lecture Style	講義科目
担当教員名 Instructor (担当教員所属名 Affiliation)	友杉 芳正 (会計学研究科修士課程)
授業の目標	監査は、企業経営における会計・業務・経営の各情報の信頼性を保証し、外部監査と内部監査に分類される。監査の目的、機能、構造を明らかにし、監査の本質を理解する。法制度と結びつく外部監査では、金融商品取引法監査としての公認会計士監査、会社法監査としての会計監査人監査、監査役(会)監査、監査委員会監査、監査等委員会監査がある。また有用な経営管理手段としての内部監査では、内部監査人監査について説明する。各々の監査の存在意義と社会的・組織的有用性について、理論と実践の両面から検討する。主に講義形式で行う予定である。
授業の概要	1コーポレート・ガバナンスと監査の関係 2監査法人 3監査基準 4監査リスク 5独立性 6監査手続 7監査の目的 8監査等委員会監査など 9監査報告書の雛形 10継続企業の監査 11内部統制監査基準 12四半期レビュー基準 13内部監査基準 14一般に公正妥当と認められる監査の基準 15非営利法人監査など  (評価方法) 試験点60%、レポートなど提出点20%、その他平常点20%による総合評価
評価方法	試験点60%、レポートなど提出点20%、その他平常点20%による総合評価
教員の指導に従わない以外の事由 による失格基準	特になし

授業計画	1コーポレート・ガバナンスと監査の関係 2監査法人 3監査基準 4監査リスク 5独立性 6監査手続 7監査の目的 8監査等委員会監査など 9監査報告書の雛形 10継続企業の監査 11内部統制監査基準 12四半期レビュー基準 13内部監査基準 14一般に公正妥当と認められる監査の基準 15非営利法人監査など
テキスト	開講時に指示する。
参考書	進度に応じて、適宜支持する。
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等	含まない
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等の内容	
実務経験のある担当教員による授業	該当しない
担当教員の実務経験を活かした授業の内容	
質問への対応方法	特になし
フィードバックの方法	特になし
予習・復習等、準備学習の内容及び時間	特になし
使用言語	日本語
SDGs 17の目標（1～10）	
SDGs 17の目標（11～17）	
PROGリテラシーの要素	
PROGコンピテンシーの要素	